

# 地形に沿った水蒸気の流入過程と 大気の安定度の関係

COBRA研究会 Jan 5<sup>th</sup>

京都大学中北研究室M1  
神谷太雅

## Outline

- 研究背景と目的
- 感度実験における解析
- 今後の方針
- 現在行っている解析

### 研究背景

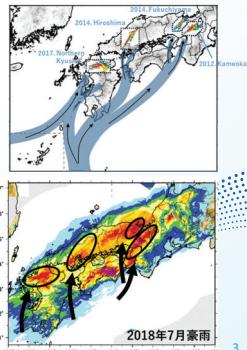
梅雨豪雨にとって水蒸気の流入は必須

水蒸気の流入経路が存在

未解明な部分が多い

地形に沿う水蒸気流入経路に着目

地球温暖化によって梅雨豪雨は強靭化、頻発化



### 目的

地球温暖化によって水蒸気流入経路はどのように変わるか

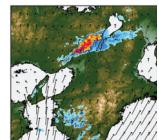
豪雨発生域は地球温暖化によってどう変わるか

防災に繋がる

新しい水蒸気流入経路！？

大気の安定度と水蒸気の流入経路はどのように関係しているのか

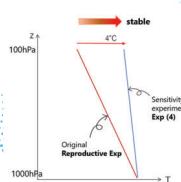
### 亀岡豪雨の感度実験



亀岡豪雨 (2012/07/15)

線状対流系

水蒸気が流入する様子が明確に確認できた事例



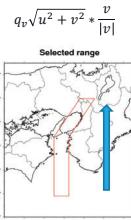
安定度を変えた感度実験

感度実験: 溫位の傾きを変えて安定度を変える

RCP8.5に類似するような設定 (4-degree rise)

### 解析

南北鉛直断面における水蒸気flux



再現実験  
Reproductive exp

profile of water vapor flux 20120715 01-02 jet

Geopotential height [m]

感度実験  
Sensitivity exp

profile of water vapor flux 20120715 02-03 jet

Geopotential height [m]

差  
Sen - Rep

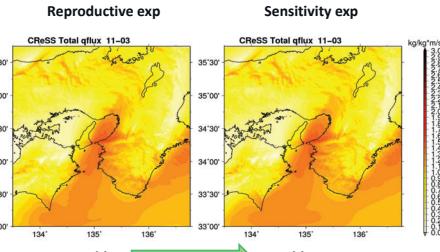
profile of diff in qflux 20120715 01-02 jet

Geopotential height [m]

### 解析

亀岡豪雨 (2012/07/15)

11pm~3amにおける1000m以下の水蒸気fluxの平均



$$\sum_0^h q_v \sqrt{u^2 + v^2} * \frac{v}{|v|}$$

より安定な条件下のほうが地形にそってより大きく入り込んでいる  
安定度による影響のみ？

### 今後の方針

安定度のみが地形に沿う流れに与える影響を見たい

(複雑な環境場や複雑な地形では考えない)

#### ■ 簡単化した理想実験

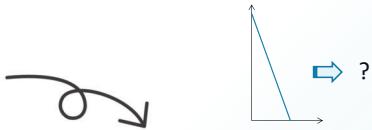
- 簡単な地形
- 一様な流れ
- 安定度のみを変える
- 境界も簡単に

> 安定度と地形により起こる流れの違いを明らかに

## 今後の方針

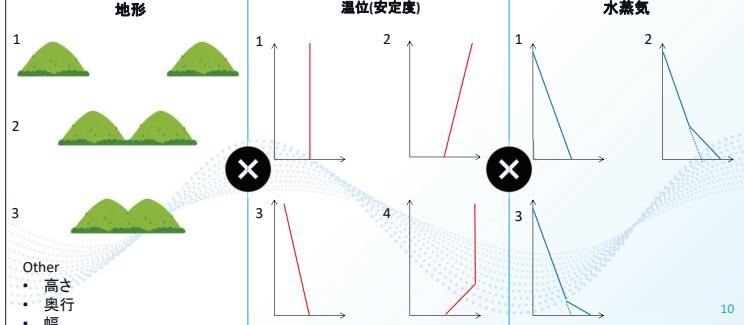
地形の向こう側で、…

- ◆ どの条件において水蒸気がもっとも地形に入り込みやすいか
- ◆ 水蒸気のプロファイルがどのように変わるか
- ◆ 地形の間を通り水蒸気フラックスの値はどう変わるか
- ◆ 水蒸気がどう増えるか/減るか



## 今後の方針

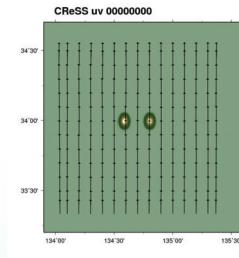
### ■ 理想実験において変える変数



## Method

- CReSS (ver2)
- 雲微物理/地表面過程なし
- 南風10m/sをすべての高度に
- 水蒸気なし(乾燥大気)
- 領域に一様に温位を与える
- コリオリ力/地球の曲率影響項なし
- 放射境界

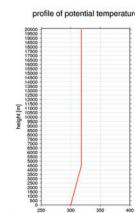
- 地形
- ベル型の二つの山(正規分布で与える)
  - 他のエリアは海
  - Height : 2000m
  - Width : 10000m
  - Distance : 20000m



- Grid #: 250\*250
- Grid width: 500m

## Method

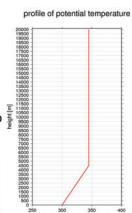
### Trial1



同じ地表面温度  
温位の傾きを変える

- |              |              |              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| Reproduction | 1°C raised   | 2°C raised   | 4°C raised   | PGW          |
| $d\theta/dz$ | 0.0048266370 | 0.0048885867 | 0.0049506277 | 0.0050416188 |

### Trial2

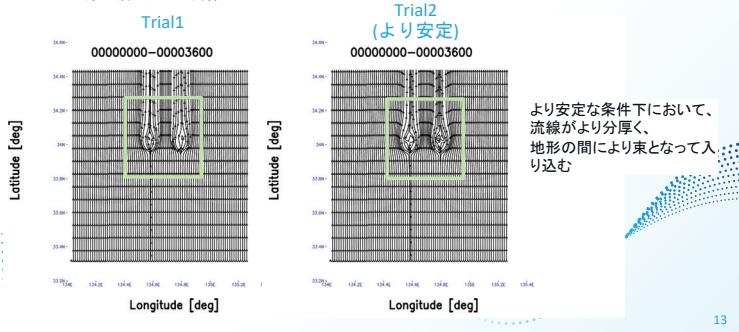


極端に変えて  
行ってみる

12

## 解析 (trial 1 & 2)

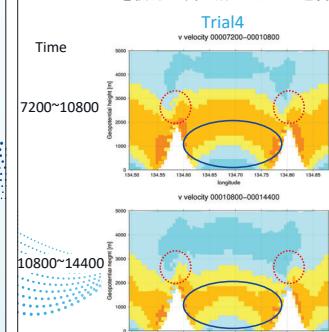
### ■ 第一層における流線



より安定な条件下において、  
流線がより分厚く、  
地形の間により束となって入り込む

## 解析 (trial 1 & 2)

### ■ 山を横切る鉛直断面における速度V



### Trial5 (more stable)

より安定な条件下で、  
山の間でvが大きくなっている

山頂上部ではvが小さく

安定な環境がより  
地形の間の流れを強く

14

## Future work

- ◆ どの条件において水蒸気がもっとも地形に入り込みやすいか
- ◆ 水蒸気のプロファイルがどのように変わるか
- ◆ 地形の間を通り水蒸気フラックスの値はどう変わるか
- ◆ 水蒸気がどう増えるか/減るか

▶ 地形 × 安定度 × 水蒸気の変数を変えて

## Future work

- 水蒸気を含める方法の検討
- 不自然な挙動を抑えたい

